

ABINC 訪問レポート2

自然共生街づくりをめざした「フォレストガーデン秦野」

戸建住宅団地・街区版部門の第一号として、ABINC 認証を取得した「フォレストガーデン秦野」は、新宿から小田急線で 80 分の小田急秦野駅から徒歩 5 分。都心からほど近いロケーションにありながら、清水が流れ、緑豊かな環境下にあります。

32ha の広大な土地に 43 戸の戸建住宅からなる街の中心は、中央に計画された「今泉あらい湧水公園」。「日本の名水百選」にも選ばれた“荒井湧水群”を水源とし、ダイナミックに配置された水辺には、希少種の“ホトケドジョウ”や湖水の宝石“カワセミ”が集まります。そこから流れ出る小川では、近所の子供が、いつも水遊び。各戸には、一定量の雨水を貯留後排水する緑地施設“レインガーデン”が配置されるなど、街全体を通し、生活の身近で生態系が感じられる計画です。

2018 年 7 月 14 日、地域住民に対する説明会が開催され、20 人程度が参加。住民の皆さんも“自然と共生した街づくり”にとても積極的で、「外来種を見つけたときの対処方法は？」「地域環境に配慮した緑の管理方法は？」など多くの意見や質問が飛び交っていました。今後、共通のモニタリングシートで、いきもの調査を地域住民の手で行っていきこうと意気統合。自然との共生を地域の価値化に結びつけようとする街づくりは、離陸に成功した模様です。



各戸に配置されたレインガーデンとバードバス。日常の身近で、生態系が感じられる工夫がなされている。



「今泉あらい湧水公園」中央の水面には、カワセミ用のとりまき木が配置されている。



「今泉あらい湧水公園」は、増水時それ自体が一次貯留となるレインガーデンの機能を備えている。



2018 年 7 月 7 日開催された住民説明会では、自然共生街づくりへの積極的な論議がなされていた。